



forcharityrun2015

UNITING FOR OUR COMMUNITY



FITチャリティ・ラン2015 寄付金贈呈式・懇親会

2016年2月2日(火)

FITチャリティ・ラン2015実行委員会
於:六本木ヒルズクラブ

FIT For Charity Run 2015

Donation Presentation Ceremony

Date: Tuesday, 2 February 2016

Place: Roppongi Hills Club

式次第

- 19:00 開会
- 19:05 歓迎のご挨拶
- 19:10 主催者挨拶
- 19:15 支援先8団体による
プレゼンテーション
- 20:00 小切手の贈呈(記念写真)
- 20:10 懇親会
- 21:00 ご挨拶
- 21:15 閉会

Agenda

- 19:00 Opening
- 19:05 Welcome remarks by the host
- 19:10 Speech by FIT 2015
Co-chairs
- 19:15 Presentations by eight
beneficiary organisations
- 20:00 Donation presentation (photo
session)
- 20:10 Reception
- 21:00 Closing remarks
- 21:15 Conclusion

歓迎のご挨拶

木頃 由紀 様

六本木ヒルズクラブ
副総支配人

Welcome by
the host

Ms. Yuki Kigoro

Executive Assistant Manager
Roppongi Hills Club

主催者挨拶

FITチャリティ・ラン2015
共同実行委員長

レイモンド・
ウォング

(ウェルズ・ファーゴ)

松方 留美

(ピムコジャパンリミテッド)

Welcome Speech

FIT 2015 Co-Chairs

Raymond Wong

Wells Fargo

Rumi Matsukata

PIMCO Japan Ltd

FITチャリティ・ラン (FIT)

- FITチャリティ・ランは、私たちが働き、生活を営む社会の役に立つ活動に業界全体で取り組むことを目的とし、金融サービスおよび関連事業を展開する企業で働く有志が設立し、運営しています。
- FITは、金融サービス業界全体の強いコミットメントを示すものです。
- FITは、地域に根付いた、社会的に意義ある活動をしているものの、認知度等の問題により十分な活動資金を確保できない団体への寄付を通じて、社会貢献を行います。
- また、FITはより多くの人に地域活動団体を支援する機会を提供するとともに、こうした活動へのより多くの参加を呼びかけています。

Financial Industry in Tokyo For Charity (FIT)

- FIT For Charity was established and is run by like-minded individuals in the industry to make a difference in the community in which we live and work.
- FIT is a powerful expression of the financial industry's collective commitment.
- FIT raising money & attention for local community organisations serving important but not necessarily well-recognised or understood needs.
- FIT gives as many people as possible the opportunity to support these local community organisations and...
- ...encourages greater levels of participation in other charitable events and organisations.

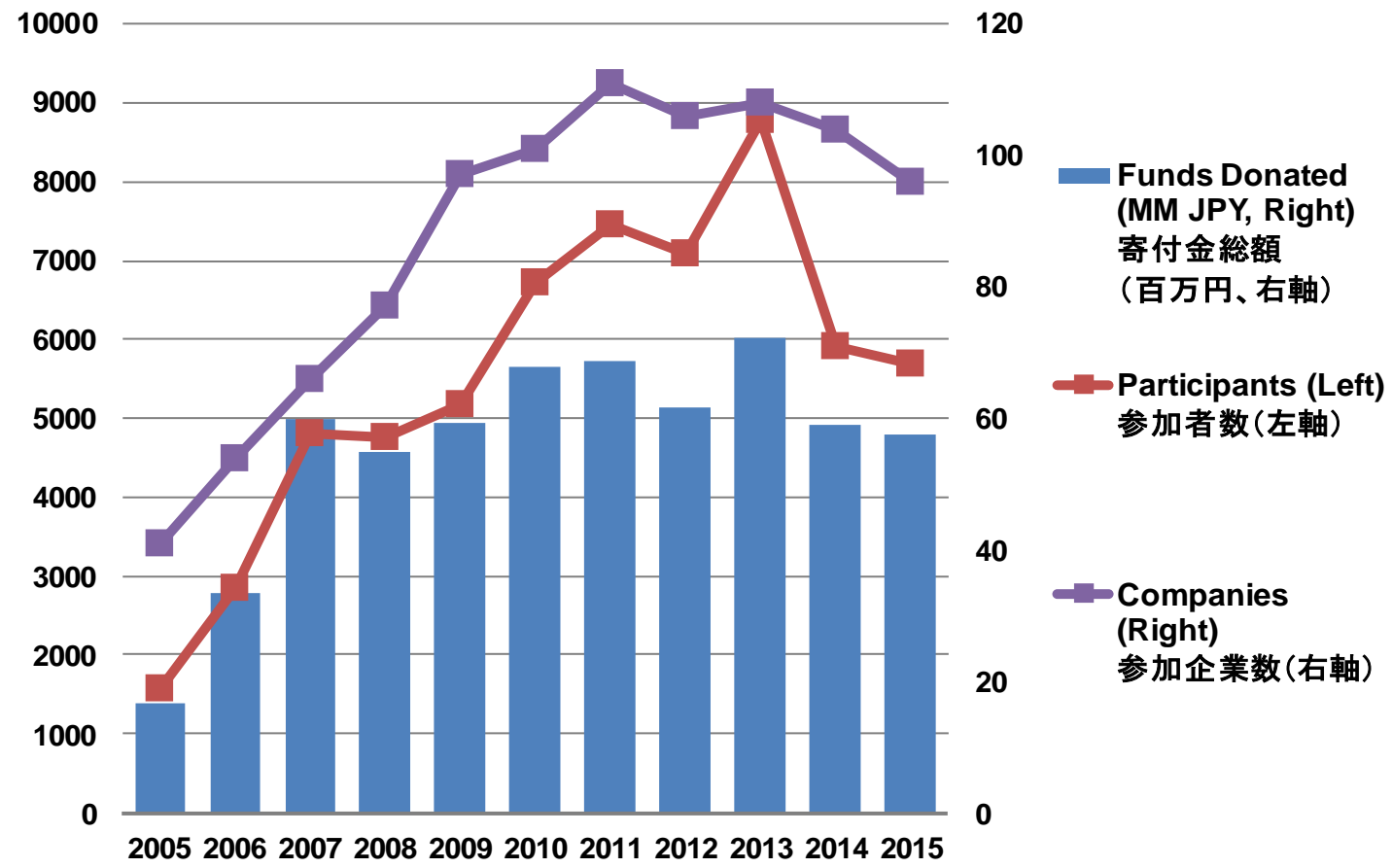
2015 FITチャリティ・ラン (FIT)

- 2015年は、FIT11回目のイベントでした。
約5,700人(5,444人のランナーおよびウォーカーのほか、過去最多の300人を超えるボランティア)が集まりました。
- FITとして初めて東京都からの後援をいただきました。
- 2005年以来、寄付金として5億円を超える額を集めました。
集めた資金に対する寄付金の割合は平均90%です。
- 認知度等の問題により十分な活動資金を確保できていない80近い団体に寄付いたしました。
- 延べ5万5000人の参加者やボランティアが参加しました。
- 2009年以来、毎年平均金融機関 100社が参加しました。

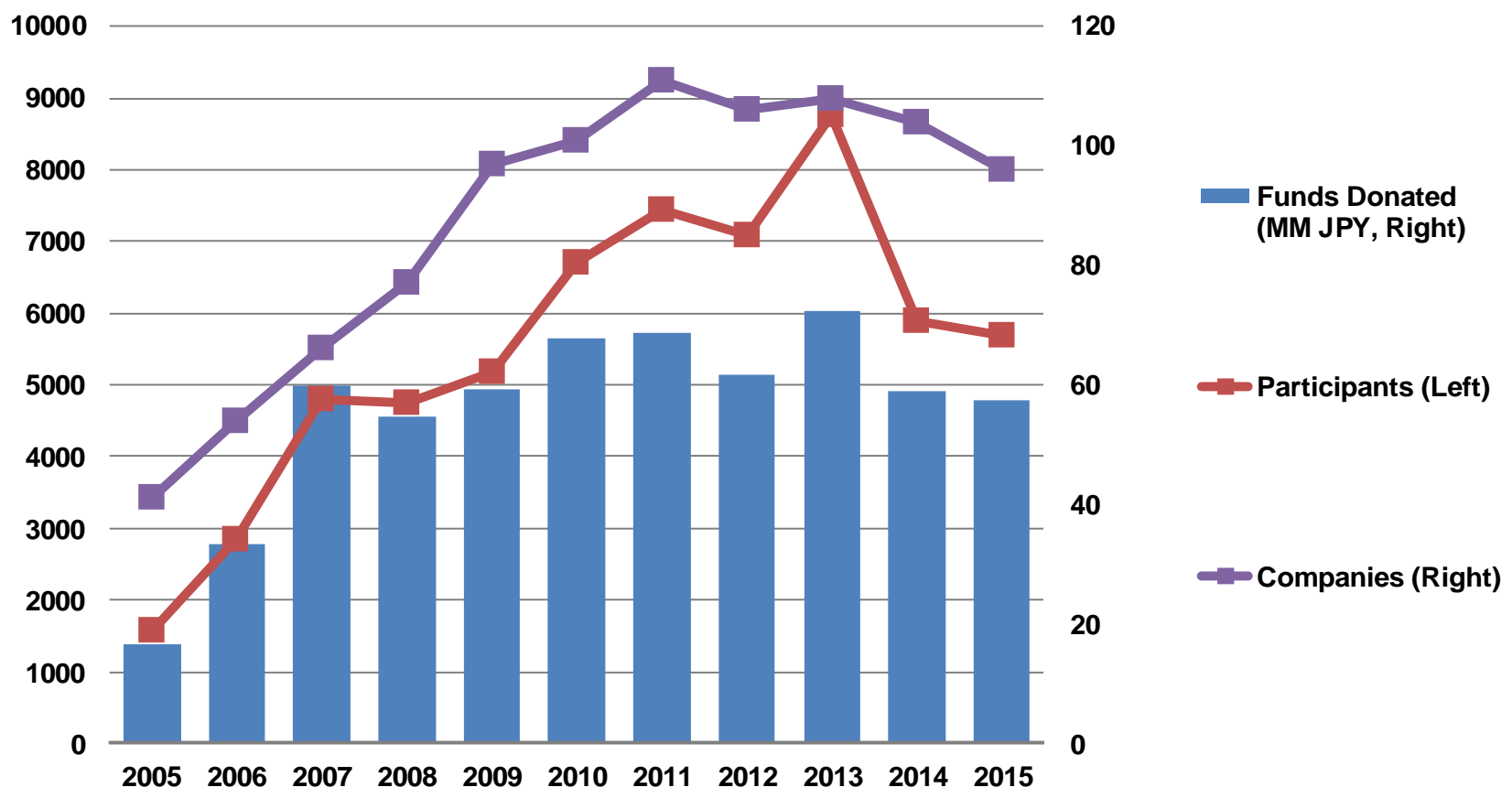
FIT For Charity Run 2015

- 2015 was the 11th FIT For Charity Run with 5,444 registered participants and a record high 300+ volunteers
- FIT received “Koen” support from Tokyo Metropolitan Government for the first time
- Over half a billion yen raised since the inaugural run in 2005
- Average of overall pass-through rate is over 90%
- Nearly 80 different smaller and under-recognized charities have benefitted
- Over 55,000 individual participants, including volunteers
- Since 2009, an average of over 100 different financial services companies have participated

FITの実績



FIT Result



FIT FOR CHARITY 2015 は先を見据えて:

質、透明性、意識の向上に挑むことによって、スポンサー、サポーター、寄付先団体、ボランティア、ランナーの方々にとってよりよいチャリティイベントへ

- ランニングコースと明治神宮外苑エリアを提供してくださっている日本サイクリング協会および明治神宮外苑と中期的な関係を強化する。
- 2014以前の寄付先団体の現況報告と宣伝の場をつくり企業間の認知度を向上する。
- 現在のチャリティ選択プロセスを見直し精査することにより、FITの理念およびガイドラインに沿った適格な団体を選出する。
- 副実行委員長の業務の引き継ぎプロセスを構築し継続性と効率性を向上させる。
- スポンサー企業から具体的なボランティア業務の支援を依頼し、イベント当日のボランティアを増やす。

FIT For Charity looks to the future ...

by improving Quality, Transparency and Awareness, we can build a better charity event for Sponsors, Supporters, Charity Beneficiaries, Volunteers and Runners

FIT 2015 leaders focused on:

- Building medium term relationships with Japan Cycling Association and Meiji Jingu Gaien who have been generously allowed us to use the course and Meiji Jingu Gaien area
- Giving past Charity recipients opportunities to promote and update progress to raise interest and awareness
- Thorough review of current Charity selection process to maintain high quality aligned with FIT's eligibility criteria
- Developing a more structured VC handover process for continuity and efficiency
- Seeking help from sponsors to encourage more volunteers to run the event

後援

- 東京都
- 株式会社朝日新聞社
- 株式会社日本経済新聞社

特別支援

- 公益財団法人 日本サイクリング協会



- 明治神宮外苑

“Koen” Supporters

- Tokyo Metropolitan Government
- The Asahi Shimbun Company
- Nikkei Inc.

Special Supporters

- Japan Cycling Association



- Meiji Jingu Gaien

FIT2015 の協力企業(物品、サービスの寄付・提供)

- アビリタス ホスピタリティ株式会社
- エールフランス航空
- 福永 晃(写真家)
- アントニートラン(写真家)
- アサヒフードアンドヘルスケア株式会社
- 旭川グランドホテル
- ブルーノート東京
- 株式会社チェリオコーポレーション
- 株式会社 シネ・フォーカス
- コンラッド東京
- コットンクラブ
- 有限会社 クリプトメリア
- デルタ航空
- 株式会社デジタルステージ
- グランドハイアット東京
- 株式会社ホテルオークラ東京
- 帝国ホテル東京
- ホテルインターコンチネンタル東京ベイ
- クレアブ・ギャビン・アンダーソン株式会社
- ロワジール スパタワー 那覇
- 村越将浩(写真家)
- 三井不動産ビルマネジメント株式会社
- みずほフィナンシャルグループ
- モエ・エ・シャンドン
- マザーウォーター株式会社
- モーション・ブルー・ヨコハマ
- 日本通運株式会社
- ワン・ニセコ・リゾート・タワーズ
- 大塚ホールディングス株式会社
- パークホテル東京
- パーク ハイアット 東京
- ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
- 株式会社 ルーツ・スポーツ・ジャパン
- 六本木ヒルズクラブ
- ロイヤルパークホテル ザ 汐留
- 中山 秀(グラフィック デザイナー)
- 株式会社 想研
- ザ・リッツ・カールトン東京
- トムス株式会社
- 株式会社ユニフルーティー・ジャパン
- ユナイテッド航空

(英文社名アルファベット順)

FIT2015 Donors (Goods & Services)

- Abilitas Hospitality
 - Air France
 - Akira Fukunaga (Photographer)
 - Antony Tran (Photographer)
 - Asahi Food & Healthcare, Ltd.
 - Asahikawa Grand Hotel
 - Blue Note Tokyo
 - Cheerio Corporation Co., Ltd.
 - Cine Focus Corp.
 - Conrad Tokyo
 - Cotton Club
 - CRYPTOMERIA Inc.
 - Delta Air Lines, Inc.
 - DIGITALSTAGE Inc.
 - Grand Hyatt Tokyo
 - Hotel Okura Tokyo Co., Ltd.
 - Imperial Hotel Tokyo
 - InterContinental Tokyo Bay
 - Kreab Gavin Anderson K.K.
 - Loisir Hotel & Spa Tower Naha
 - Masahiro Murakoshi (Photographer)
 - Mitsui Fudosan Building Management Co., Ltd.
 - Mizuho Financial Group, Inc.
 - Moët & Chandon
 - Mother Water Inc.
 - Motion Blue Yokohama
 - Nippon Express Co., Ltd.
 - One Niseko Resort Towers
 - Otsuka Holdings Co., Ltd.
 - Park Hotel Tokyo
 - Park Hyatt Tokyo
 - POKKA SAPPORO Food & Beverage Ltd.
 - Roots Sports Japan Co., Ltd.
 - Roppongi Hills Club
 - Royal Park Hotel The Shiodome, Tokyo
 - Shu Nakayama (Graphic Designer)
 - Soken Inc.
 - The Ritz-Carlton, Tokyo
 - TOMS Co., Ltd.
 - Unifrutti Japan Corporation
 - United.
- (in alphabetical order)

FIT2015協賛企業



FIT2015 Sponsors and Supporters



FITチャリティ・ラン2015実行委員会 組織図*

共同実行委員長
松方 留美(ピムコジャパンリミテッド), レイモンド・ウォング(ウェルス・ファースト)

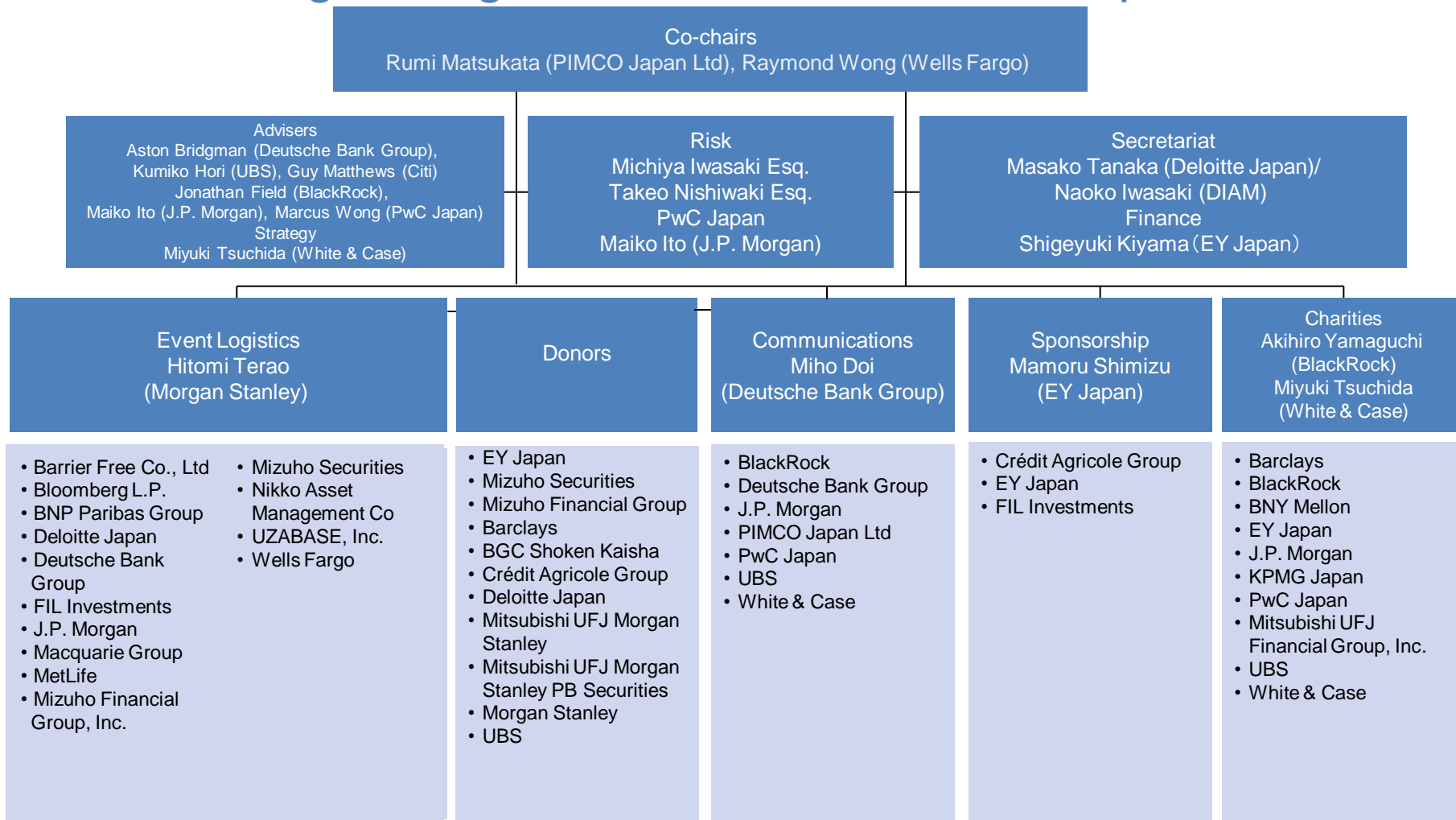
<p>アドバイザー アストン・ブリッジマン(ドイツ銀行グループ), 堀久美子(UBS) ガイ・マシューズ(シティ) ジョナサン・フィールド(ブラックロック), 伊東麻衣子(J.P. モルガン), マーカス・ウォング(PwC ジャパン) ストラテジー 土田美由紀(ホワイト&ケース)</p>	<p>リスク 弁護士 岩崎通也 弁護士 西脇威夫 PwCジャパン 伊東麻衣子(J.P. モルガン)</p>	<p>書記 田中雅子(デロイトトーマツグループ)/岩崎奈緒子(DIAM) 経理 木山茂之(EYジャパン)</p>
--	--	--

<p>総務担当 寺尾 ひとみ(モルガン・スタンレー)</p>	<p>協力企業担当</p>	<p>広報担当 土井未穂 (ドイツ銀行グループ)</p>	<p>企業スポンサー担当 清水 衛 (EYジャパン)</p>	<p>寄付先団体担当 山口 暁洋(ブラックロック) 土田美由紀(ホワイト&ケース)</p>
---	----------------------	---	---	--

- | | | | | |
|---|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> バリアフリーカンパニー ブルームバーグ・エル・ピー BNPパリバグループ デロイトトーマツグループ ドイツ銀行グループ フィデリティ投信 J.P. モルガン マッコーリーグループ メットライフ みずほ フィナンシャルグループ みずほ証券 日興アセットマネジメント ユーザベース ウェルス・ファースト | <ul style="list-style-type: none"> EYジャパン みずほ証券 みずほフィナンシャルグループ パークレイズ BGC証券 クレディ・アグリコルグループ デロイトトーマツグループ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券 モルガン・スタンレー UBS | <ul style="list-style-type: none"> ブラックロック ドイツ銀行グループ J.P. モルガン ピムコジャパンリミテッド PwCジャパン UBSグループ ホワイト&ケース | <ul style="list-style-type: none"> クレディ・アグリコルグループ EYジャパン フィデリティ投信 | <ul style="list-style-type: none"> パークレイズ ブラックロック BNYメロン EYジャパン J.P. モルガン KPMG ジャパン PwCジャパン 三菱UFJフィナンシャルグループ UBS ホワイト&ケース |
|---|---|---|--|---|

* 英語名称、アルファベット順

FIT2015 Organising Committee Member Companies*





forcharityrun2015

UNITING FOR OUR COMMUNITY



支援先団体による
プレゼンテーション

Presentation from the
Beneficiary Organisations

FIT2015支援先団体による プレゼンテーション

1. ア・ドリーム・ア・デイ IN TOKYO
2. BOND プロジェクト
3. 発達わんぱく会
4. 聴覚障害教育支援大塚クラブ
5. ReBit
6. しんぐるまざあず・ふぉーらむ
7. 在日外国人教育生活相談
センター・信愛塾
8. スマイリングホスピタルジャパン

Presentations by eight beneficiary organisations

1. A Dream A Day IN TOKYO
2. BOND Project
3. Hattatsu Wampaku-Kai
4. Otsuka Club
5. ReBit
6. Single Mothers Forum
7. Shinaijuku
8. Smiling Hospital Japan

公益社団法人ア・ドリーム・ア・デイ IN TOKYO A Dream A Day IN TOKYO

マネージングディレクター
津田和泉様

Ms. Izumi TSUDA,
Managing Director



概要

Profile

■ 理念 Vision

どこからもサポートがない難病児とご家族に、社会との接点を提供する。

■ 使命 Mission

終末期にある・終末期に移行する恐れのある難病児とご家族の夢を叶える。彼らの東京旅行の全てのコーディネートと滞在費用を提供し、ご家族に思い出を作ってもらう。



取り組んでいる社会的課題

Focus issues

- 症状が重く時間に限りのある子どもと家族の支援に特化。救命救急士の同行や緊急時の医療サポート体制の強化により、疎外状況にある病児と家族でも参加できるプログラムを提供。
- ニーズが高いにもかかわらず福祉行政や既存のNPO支援からの救いの手が差し伸べられない子ども達の支援。
- 日本の難病児と家族が置かれている状況を知ってもらう。企業からのボランティアや医療従事者の積極的な参加を受け入れ、支援の裾野を広げる。

寄付金の使途計画

Usage of FIT's funds

- 関東からの5家族分の受け入れ(1家族80万円～95万円)、病児により救命救急士の同行並びに福祉車両の利用にかかる実費、完了報告書の日英2言語での作成にかかる費用に、FITの寄付金を使用いたします。
- 病児と家族の移動費、ディズニー利用費 619,950円
- 旅行保険、車両保険 90,000円
- ドライバーの日当、高速道路料金、ガソリン代 250,000円
- * 重症児の移動で福祉車両利用のリース費用 45,000円
- * 救命救急士の日当・移動費・宿泊費 500,000円
- * 東京の宿泊施設は、ニチレイから社員寮を無償貸与
- * 東京での移動車両はフォードジャパンから無償貸与
- 完了報告書の英訳(15ページ) 5万円

FITの寄付金により期待される効果・インパクト

Effects and impact of FIT's funds

- 症状が重く他のNPOでは受け入れてもらえない子供を重点的に支援。社会から疎外されたご家族に特化したサービス提供能力を強化。
- 参加者からの口コミで別の家族の申し込みが増加するため、関東の子どもの受け入れを実施して、地域による参加のばらつきを減らす。
- 日本の難病児と家族が置かれている状況を広く知ってもらう。事業完了後の結果を広報することで支援の裾野を広げる。

特定非営利活動法人BONDプロジェクト NPO BOND Project

代表 橘 ジュン様

Ms. Jun Tachibana

Representative



困難を抱えた10代20代の女性の支援

虐待
いじめ
性被害
自殺願望など

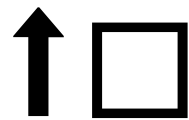
家庭的
経済的
複雑な事情

社会的な
排除・孤立
脆弱さ

援助希求力
が低い

誰からも守られないままであると・・・

性的搾取、さらなる性被害、自殺に踏み切るリスクが高まる



安心して安全に暮らせるよう
一人ひとりに寄り添った支援

ボンドプロジェクトが取り組んでいる活動

相談件数

	2013年	2014年	2015年
相談件数	14,000	15,000	16,000
保護件数	51	80	278

年々増加↑□

* 相談件数: メール、電話、面接相談件数の累計。概数。

* 保護: 自主運営のシェルターで衣食住提供など。

活動内容

- ・メール、電話、面接相談
- ・出張面談
- ・**アウトリーチ活動** (繁華街での声かけ、実態調査)
- ・保護、衣食住の提供
- ・他の専門支援機関への同行、連携

カフェ型移動相談カー



東京・渋谷



・移動可能範囲の拡大

都内各地、関東近郊、東北地方、中部地方へ

・自立支援できる女の子の増加

3年間で1200人の女の子を支援できるようになる

・街中を走ることによる宣伝効果

認知度があがることで性的搾取の抑止、被害減効果も想定

自立への導き、後押し

安心して安全な暮らしができる女の子の増加

自殺防止、社会的損失を防ぐ

寄付金の使途計画

初期投入費として

来年度オープン予定の固定店舗と連携し持続可能な運営、事業拡大。

(単位:万円)

車両費	350
備品、什器費	100
メンテナンス・改造費	45
食品衛生責任者資格 取得料	2
広告宣伝費	35
運営費	86
消費税	47.2
合計	665.2

目標

2016年
FITチャリティーラン

トレーニングした女の子たちと一緒に
移動カフェによる飲み物提供



bond
Project

※寄付金額を超える費用は団体に負担します



NPO法人 発達わんぱく会

Non Profit Organization Hattatsu Wanpaku Kai

理事長 小田知宏

Mr. Tomohiro Oda

Chairman

● 法人概要 Profile

● 目指す社会

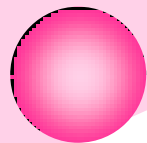
- すべての子どもが、発達障害を持って生まれても、自立したその人らしい大人になって、豊かな人生を送れる社会

● ミッション

- 発達障害のある子どもが、コミュニケーションの力を身につけ、長所を伸ばし、地域のなかで自分らしく生きていけるよう、家族、地域、行政のみんなで支援する。

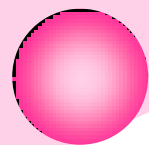
● 事業内容

- ① こころとことばの教室こっこの運営
- ② 保育園・幼稚園への巡回
- ③ 児童発達支援事業所向けコンサルティング



法人概要 Profile

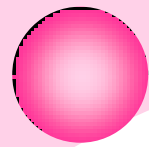
- Society Aim
 - A society where all children, even if born with a developmental disorder, can develop as an independent adult and live a rich life in our society.
- Mission
 - Our mission is to support children with developmental disorders to build their communication skills, allowing them to live as part of their community. We will provide support from the family, community and government.
- Business Detail
 - ① Operate the “Child Development Center Kokko” Classroom
 - ② Visit nursery schools and kindergartens
 - ③ Provide consulting for child development support offices



取り組んでいる社会的課題 Focused issues

- 6.5%が発達障害
- 発達障害の子どもの可能性とリスク
- 91.5%が支援なし

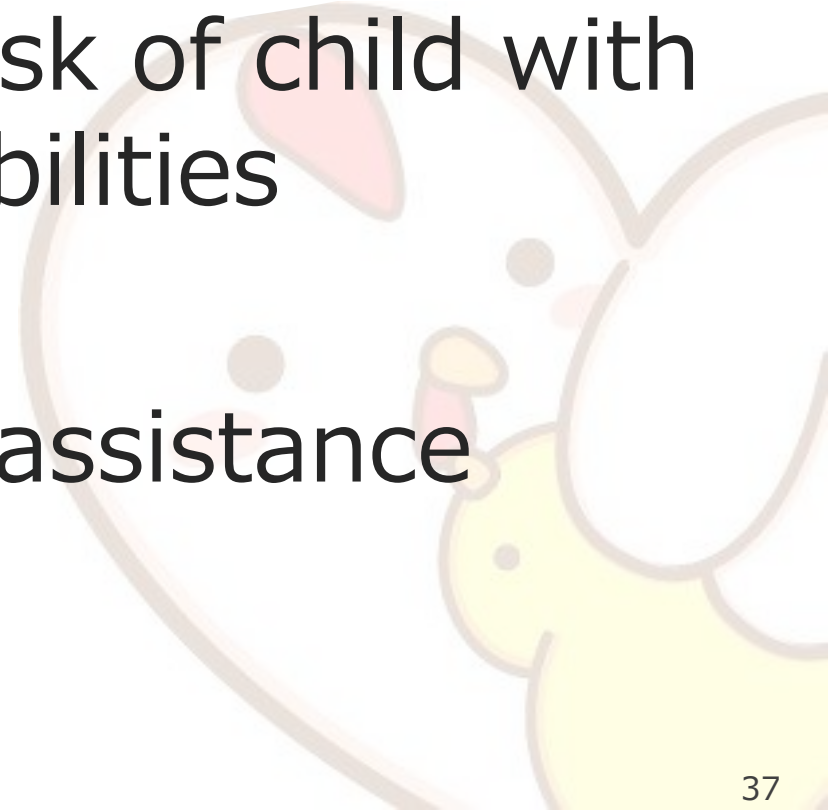


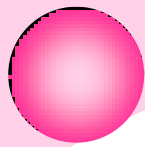


取り組んでいる社会的課題

Focused issues

- 6.5% are developmental disorders
- The potential and risk of child with developmental disabilities
- 91.5% are without assistance

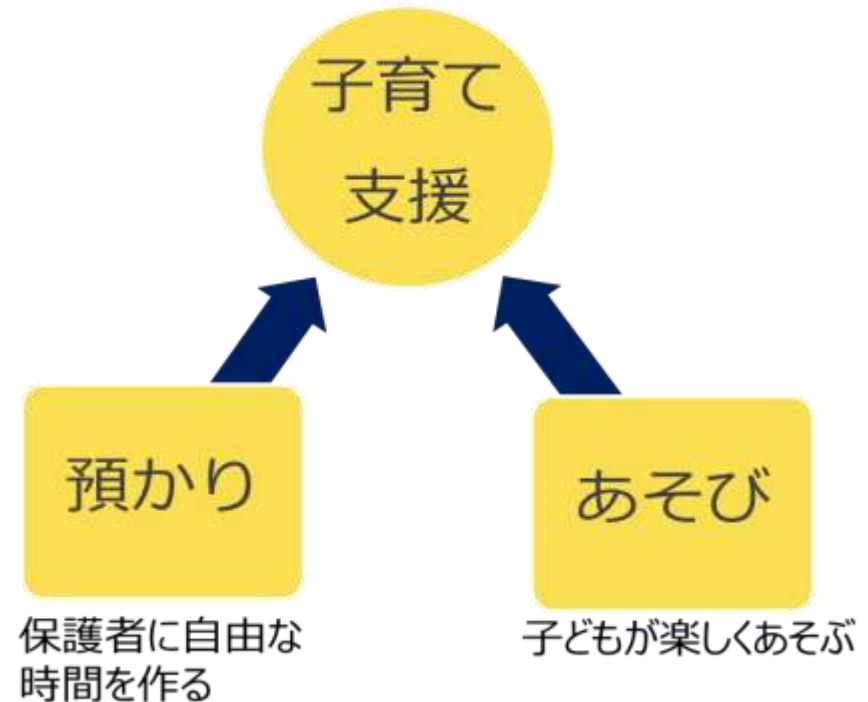


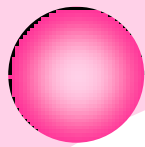


寄付金の使途計画 Usage of FIT's funds

- 「おやこっこルーム」の開設費用2,000万円の一部に充当
- 発達的气になる幼児とその保護者に「居場所」を提供
- 来会計期中（2016,7-2017,6）までの開設を目指す

#	項目	金額（円）
1	人件費	1,800,000
2	備品購入費	2,700,000
3	工事費・改修費	5,000,000
4	貸借料	2,250,000
5	その他経費	100,000
6	累赤字補填費用	3,850,000
7	運転資金	4,000,000
計		19,700,000



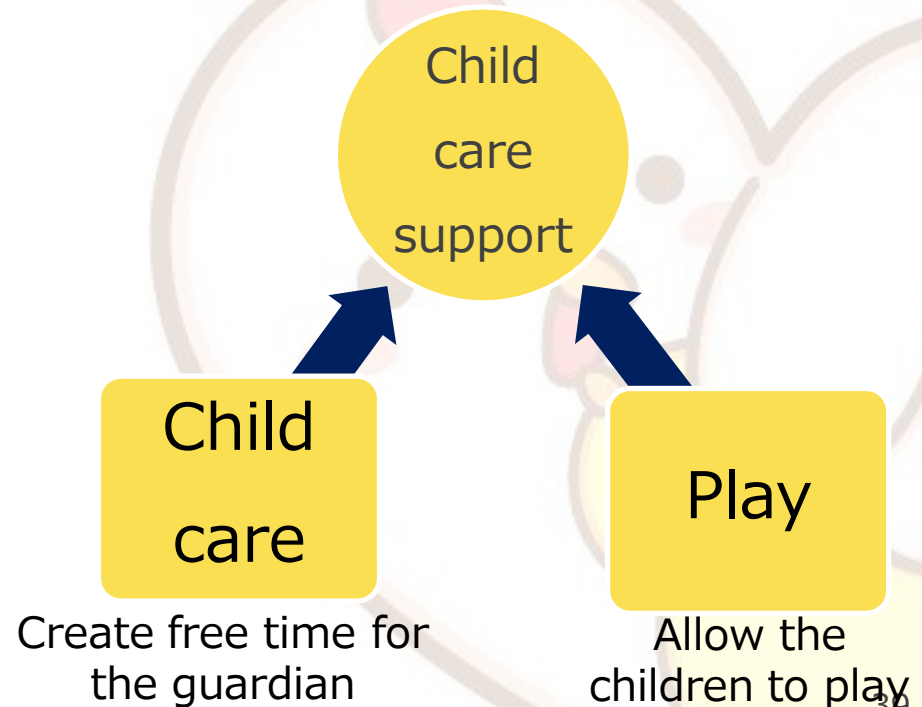


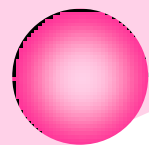
寄付金の使途計画

Usage of FIT's funds

- Utilized for "Oyakokko Room"
- Focus on creating a safe space for parents and children
- Target to start on FY 2016 (July 2016 – June 2017)

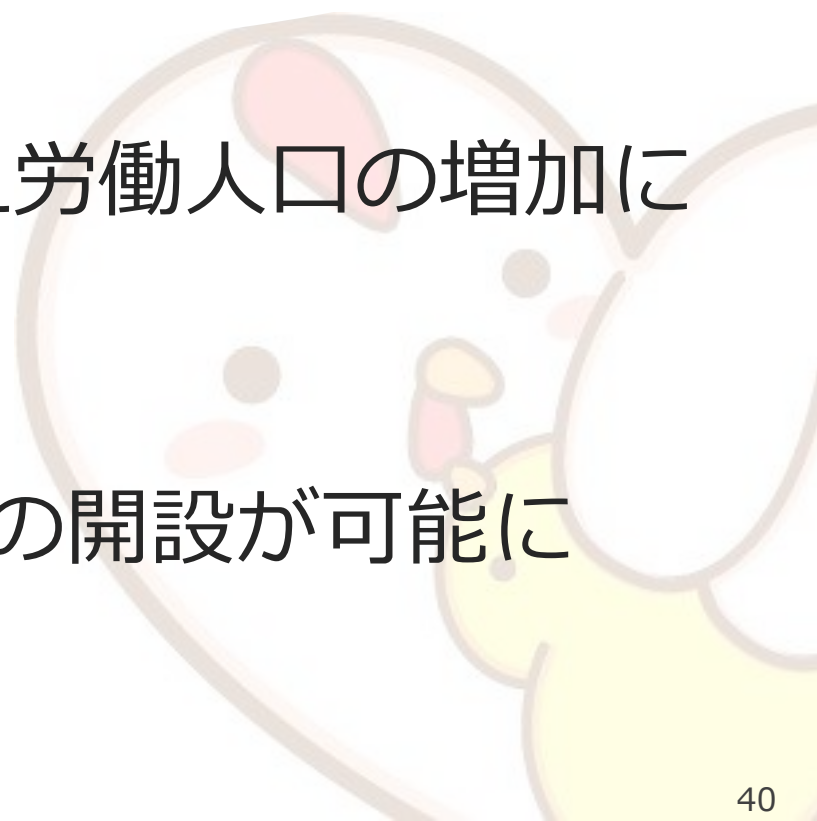
#	Subjects	Amount(JPY)
1	Personnel expenses	1,800,000
2	Office supplies expenses	2,700,000
3	Construction costs	5,000,000
4	Rents	2,250,000
5	Other expenses	100,000
6	Deficit cost	3,850,000
7	Working capital	4,000,000
Total		19,700,000

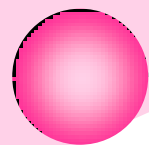




FITの寄付金により期待される効果・インパクト Effects and impact of FIT's funds

- 想定年間利用者数
 - 「遊びの場の提供」で100組、「療育的預かり」で30組
- 社会保障費の増大を抑え労働人口の増加に寄与
- FITの支援により、早期の開設が可能に





FITの寄付金により期待される効果・インパクト Effects and impact of FIT's funds

- Number of users per year (est.)
 - 30 families for “child care” and 100 families for “playing”
- Results in an increase in labor force which alleviates social welfare cost
- FIT grant will help to accelerate the plan



NPO法人 発達わんぱく会

<http://www.wanpaku.org/>

Facebook



Webサイト



Twitter



特定非営利活動法人
聴覚障害教育支援大塚クラブ
Otsuka Club

事務局長 高山嘉通

Director

Mr. Y. Takayama

聴覚障害児支援

Deaf child support





聴覚障害児の約90%は聞こえる家族の中に生まれます
About 90% of deaf children are born in hearing family



健聴児との関わりは少なく、共生社会の実現につながっていない
Little relationship with hearing children becomes a barrier to
developing an inclusive society .



聴覚障害児の社会性や自立心を養って課題解決する
We challenge to resolve issues by nourishing deaf children's socialability and independency.

取り組んでいる社会的課題

- **聴覚障害を原因とした学習の遅れ**

Delay of learning due to hearing impairment

- **社会的自立への壁**

Barrier to be independent in society

⇒ **教育的側面から支援・解決**

Provide educational support and solutions

取り組んでいる社会的課題

- **聴覚障害者の初年度離職率50%**

Turnover rate of deaf people for the first year is 50%

- **障害者差別解消法への対応**

Actions to the Disability Discrimination Act

⇒ **障害の理解・啓発により解決**

Solving issues through understanding and awareness of people with disabilities

1. 教育支援
2. 子育て支援
3. 相談支援
4. 聴覚障害教育
5. 普及啓発

Education support

Child care support

Consultation

Deaf education

Public awareness

- パソコン要約筆記 PC captioning
- 聴覚障害児の学習支援 Study support for children
- 指導者用教材制作 Instructor's teaching material



- **放課後・休日の子どもの居場所作り**
Making a place for children after school / on weekends
- **長期キャンプ** Long-term camps
- **就労・交流支援** Job hunting and Networking Support



- **聴覚障害児家庭の相談**
Counselling for families with deaf children
- **家庭訪問/母親学級** Home visits and Classes for mothers
- **引きこもりや登校拒否児童への支援**
Support for socially withdrawn and truant children

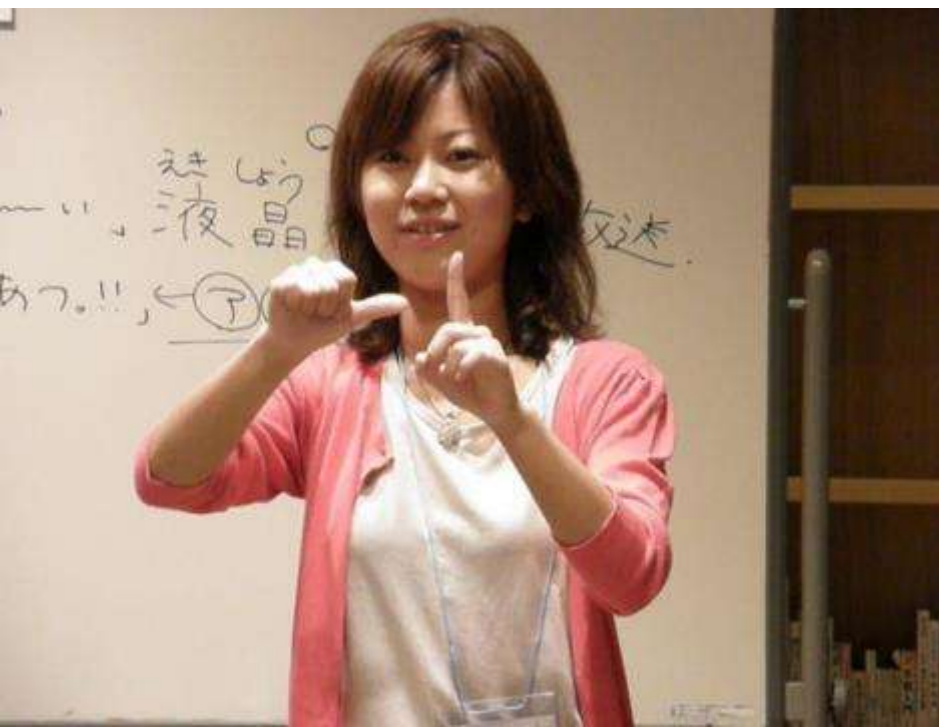


- サポートする側の人材を育てる活動

Training teachers who supporting deaf children

- 手話講座・ボランティア養成講座ほか

Sign language courses, volunteer training courses, and more



- **研究報告、障害理解啓発書の配布**

Distribution of Research reports and Brochures for public awareness to understand disabilities

- **乳幼児教育相談事例集の発行**

Publish booklets introducing case studies of child education

- **指導者ハンドブックの発行**

Publish handbook for instructors

寄付金の使途計画

■ 聴覚障害児と兄弟児の居場所作り

Creating a place for deaf children and their siblings

支出予定額 210万円

Expenditure amount planned JPY2,100,000



寄付金の使途計画

II 夏休みを活用した体験キャンプ

Experience-based camps during summer vacation

支出予定額 180万円

Expenditure amount planned JPY1,800,000



寄付金の使途計画

III 企業での手話を活用したワークショップ

Sign language workshops in companies

支出予定額 50万円

Expenditure amount planned JPY500,000



寄付金の使途計画

IV 聴覚障害児と健聴児の共同活動

Joint activities of deaf and hearing children

支出予定額 80万円

Expenditure amount planned JPY800,000

V 支援事例冊子の作成・配布

Creation and distribution of support case booklet

支出予定額 80万円

Expenditure amount planned JPY800,000

寄付金の使途計画

寄付金は、新しいプログラムの開発や、教材・ロールモデルの提供により循環する、寄付に依存しない仕組み作りに活用。

Establish a system that is self-supporting and does not have to depend on donation by developing new programs, providing study materials & role models.

FITの寄付金により期待される効果・インパクト

教育的側面 Educational aspects

- コミュニケーションの質と量(手話)
- 同年代・適正規模の仲間集団
 - 遊びには、場、時間、友達の要素が欠かせない。探求姿勢や行動力、発達に応じた言語力、生活力に寄与
- ロールモデルの存在
 - 自身の将来の姿を描くと共に、多様な価値観の気づき、進学・就労上の貴重な出会い～アイデンティティの確立
- 適切な知的好奇心への刺激
 - 概念の形成、ことばの種を撒く

FITの寄付金により期待される効果・インパクト

理解啓発的側面 Understanding/Awareness

- 健聴児との共同作業・震災復興支援
 - 仕事に向う姿勢や協助について学ぶ
 - 就労の視野を広げ、就労マッチングと定着に期待
- 障害者差別解消法対応
 - 進学や就労で必要とされる主体的に聴者と関わっていくスキルを身につける。企業サイドでは障害の理解、福祉環境作りのツールとして活用頂く。

FITの寄付金により期待される効果・インパクト

社会的自立の壁を克服

To overcome the barriers of social independence

I am grateful.
Thank you.



特定非営利活動法人ReBit ReBit

代表理事 薬師 実芳様

Mr. Mika Yakushi, CEO & Founder



FITチャリティ・ラン御中

特定非営利活動法人ReBit

代表理事 薬師実芳

mail: info@rebitlgbt.org

HP : <http://rebitlgbt.org>



LGBTもありのままでもオトナになれる社会へ

ReBit

LGBTとは？

L:レズビアン	女性同性愛者
G:ゲイ	男性同性愛者
B:バイセクシュアル	両性愛者
T:トランスジェンダー	性同一性障害者 などからだの性とこころの 性が一致しない人

広義には
性的マイノリティ
を指す用語として
使われることも。

国内のLGBTの人口比率は約**7.6%** = 約**13人に1人**



ReBitとは？

Vision

LGBTを含めた全ての子どもが
ありのままでオトナになれる社会の創出する

Mission

- 1、LGBTの子どもがオトナになるまでの各ライフステージの困難の解消
- 2、主体的に問題解決に取り組める個人の創出

設立

2009年12月学生団体として設立
2014年3月NPO法人に

所属

大学生～20代を中心に約300名
各大学のLGBT団体の代表者を中心に運営

ReBitの3つの事業



1) LGBT教育：教育現場での普及啓発

- 1、授業・研修
児童・生徒/教員/行政等に向け約200回実施。
- 2、教材作成
自治体、大学等と連携し教員向け資材を約3万部提供



2) LGBT成人式：全国最大級のLGBTの若者向けイベント

- ロールモデルの可視化のため、全国11地域で38回のイベントを実施し、約3500人が参加
- 世田谷区後援、15社の企業協賛、メディア掲載数約100回



3) LGBT就活：LGBTの若者への就活支援

- 1、約300名の10-20代LGBTへのキャリア支援実施
- 2、約60社の人事担当者へ向けた企業研修
- 3、自治体と協働し、就労支援システム構築
- 4、日本初・最大のLGBT就活生向けウェブメディア運営
- 5、日本初、LGBTキャリア情報センター運営



LGBTの子どもの現状

約7割

のLGBTが**いじめや暴力**を受けたことがある
(内12%は担任の先生から)*1

約3割

の性同一性障害者が**不登校**を経験*2

約7割

の性同一性障害者が**自死念慮**を抱く
そのピークは二次性徴期(小学校高学年～高校生)*2

教育現場の現状

約9割

の**教職員**はLGBTについて正しい知識をもっていない*3

約9割

の**高校生**がLGBTについて学校で教えられたことがない*3

*1:いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン、平成 25 年度東京都地域
自殺対策緊急強化補助事業「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)」

*2:中塚幹也(2010)「学校保健における性同一性障害一学校と医療の連携」『日本医事新報』60-64: 4521

*3:ReBitアンケート調査(2015)

セーフスペースキットについて

◆プロジェクト内容:

- 学校がLGBTの子どもにとっても安全な場所であるためには、教職員の理解や支援が不可欠
- 教師がLGBTについて知り、自立的/主体的に学校現場を変革するための資材パッケージを開発し、学校へ届ける
- これに伴う資材開発、ウェブシステム開発の初期投資として本寄付金を活用する

◆寄付金用途:教材開発(500万円)、システム構築(100万円)、管理・運用等(100万円)

1.卒業生や保護者などがweb注文



2. ReBitからセーフスペースキットを送付



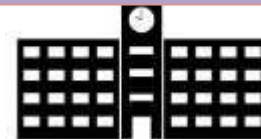
3.教職員が

- LGBTについて知る
- 教材/指導案を用い生徒に教える
- 配布資料を用い保護者へ伝える



4.教職員が

- 他の教員へ共有する
- チェックリストを用い学校を安全な場所へ変革する



期待される効果・インパクト

効果

- 1、4000校へキット送付(各校1キット)を通じ、
教職員11万人以上、生徒185万人(内LGBT14万人)以上に直接波及
- 2、ウェブの運用(教材の一部ダウンロード可能、継続的な指導法などの情報提供等)
により、全国3万6000校の小中高校への継続的波及も期待

インパクト

- 1、全国の小中高校がLGBTの子ども(約125万人)にとって、安全に過ごせる場へと変化
- 2、最も希死念慮が高まる時期に、身近に支援者がいることで、自死リスクの減少
- 3、教職員を通じた波及のため、継続し同インパクトを期待できる

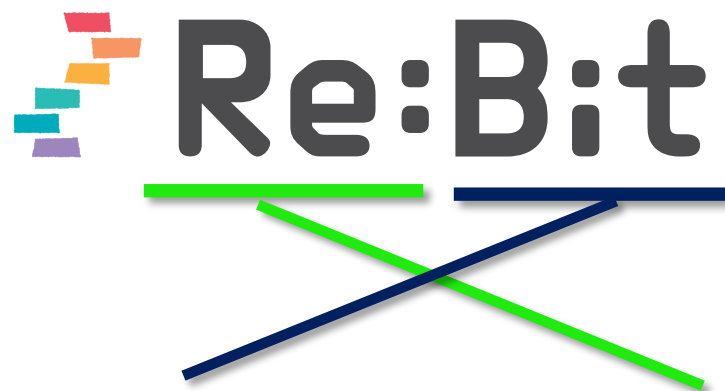
私の思い



「あなたのままで生きていける」を伝えられる
オトナを増やしたい

LGBTの子どもを含めた**すべての子どもが**
ありのままでオトナになれる社会へ





少しずつ、を何度でも

繰り返すことで、LGBTを含めたすべての子ども
がありのままでオトナになれる社会へ

FITチャリティ・ラン御中

ご静聴いただきありがとうございました

特定非営利活動法人ReBit
代表理事 薬師実芳

mail: info@rebitlgbt.org

HP : <http://rebitlgbt.org>

**NPO法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾
Shin-ai-jyuku Support Center for Foreigner's
Education and Life**

**事務局長
大石文雄様**

**Mr. Fumio Oishi
Executive Secretary**



概要

Profile

■ 理念 Vision

- 日本に居住する外国人との共生社会実現

■ 使命 Mission

- 在日外国人の教育・生活・人権などに関する伴走型相談
- 在日外国人及び日本人の学力・進路保障
- 日本人と外国人とのふれあい交流スペース
- 在日外国人子どもたちが安心して過ごせる「居場所」

■ 活動地域

- 横浜市を中心とする神奈川県内

取り組んでいる社会的課題

Focus issues

- 在日外国人は言葉の壁や生活文化の違い在留資格上の問題などで多くの困難に直面している
- 在日外国人の子どもたちにとっては学校空間だけでない、すべて楽しく過ごせる「居場所」が必要である
- 未来を開く力につながる外国人子どもたちの学力・進路保障
- 教育・生活・人権などに関わる常設型で多言語対応の相談や伴走型「支援」の必要性
- 地域に暮らす日本人にも隣人である外国人を知る機会やふれあい交流の場が求められている
- このような課題解決を通して実現する「共に生きる社会」

寄付金の使途計画

Usage of FIT's funds

- ①相談スペースと学習スペースの拡充(家賃・敷金礼金など4年分)⇒510万円
- ②施設拡充に伴う付帯設備(テーブル・椅子・書架・エアコン・PC・電話)⇒48万円
- ③スタッフの育成研修(講師謝礼・交通費。会場費)⇒42万円

FITの寄付金により期待される効果・インパクト

Effects and impact of FIT's funds

- 相談スペースの拡充によるプライバシーの確保
- 学習スペースの拡充→受入れ人数の増
- PC(スカイプ)による遠隔地からの相談への対応
- 当事者ニーズに対応出来る相談員・スタッフの育成・スキルアップ

NPO法人
しんぐるまざあず・ふぉーらむ
Single Mothers Forum

理事長
赤石千衣子様
Ms.Chieko Akaishi
Chief Director



しんぐるまざあず・ふぉーらむの これからの活動



2016年2月2日

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長
赤石千衣子

しんぐるまざあず・ふぉーらむ

Singlemothers forum

Profile

理念 Vision

ママが元気になれば子どももしあわせに！

シングルマザーが子どもといっしょに生き生き楽しく生きられるように、ママを勇気づけ、社会で活躍できる支援を行っています。

使命 Mission

シングルマザーと子どもたちのしあわせづくりの協働

ママが元気になれば子どももしあわせに！

シングルマザーが子どもといっしょに生き生き楽しく生きられるように、ママを勇気づけ、社会で活躍できる支援を行っています。



出逢い

- リーフレット
- ホームページ
- ホットライン
- 当事者向けセミナー

エンパワー

- シングルマザー相談会
- 交流会
- ニュースレター
- お楽しみ企画
- 子どもの教育支援
- パーソナルサポート

離陸を助ける

- 自立支援
- 就職後の支援
- モニタリング(見守り)

技術的・専門的支援
他団体との連携

土壌づくり： 市民向けの啓蒙セミナー、国、自治体への働きかけ

しんぐるまざあず・ふぉーらむはこんな活動 をしています

- 食料支援
- 電話相談・グループ相談会
- 学習支援
- 季節の行事
- 支援者養成
- 講師派遣
- シングルマザーフェスタ



グループ相談会

- 「自分ひとりではなかったんだ」⇒自己肯定
- 先行く仲間の話を聞く⇒これからの見通しが立つ
- 自分の経験(失敗も)役に立つ⇒さらにエンパワー
- 居場所がある⇒不安の解消
- ルール(ここで聞いた話は外ではしない、批判したりさげざたりしない、時間はみんなでシェアする、政治宗教営業勧誘をしない)

パーソナル
サポートも実施



シングル マザーフェ スタ 世田谷区

こんな企画にも協
力しています！！

シンママエンパ
ワープログラム
全開です。

「あなたは大切に
されていていい人で
す」というメッセー
ジをフェスタ全体
で伝えます

当日参加OK!!
参加無料
セミナーのみの参加は不可

保育付き
3歳未満・要申込

**スーツ・小物
プレゼント**



楽しいところにおでかけしよう♪♪♪

シングルマザーも
プレシングルマザーも
「ウエルカム♪」

“ほっとひといき” シングルマザーフェスタ

Part 3

いつもがんばっているシングルマザー＆プレシングルマザーのみなさんを
楽しく応援するイベントです！
セミナーや相談では、自分や子どもの“これから”をしっかりと考えるためのヒントを探して、
マッサージやメイク体験では、リラックス&リフレッシュ！
ぜひ、お子さんとご一緒にいらしてください。

◆日 時： 11月23日 月・祝 13:00～16:00

◆会 場： 世田谷区立男女共同参画センターらぶらす 11階

◆参加費： 無 料

◆保 育： 5か月～3歳未満まで（要予約・先着順）
保育時間 13:00～16:00
※3歳以上のお子さんは、会場でご一緒に
お過ごしください。

聞きたい!!!

シンママのためのセミナー

- ▶ 13:00～14:00
シングルマザーのHappyLifeのひけつ(※)
- ▶ 14:30～15:30
自分の強みを見つけよう！

◆各回：定員20人(事前申込優先)
◆会場：研修室3



リラクゼーション

- ▶ タイマッサージ
- ▶ ハンドマッサージ
- ▶ メイク体験 当日受付

知りたい!!!

シンママのための相談

- ▶ 法律相談
- ▶ シングルマザーの総合相談
- ▶ 子どもの心理・発達相談 当日受付

Kids!

親子 de おもちゃづくり

当日受付

お役立ちうれしい!

情報コーナーも
あります!



お土産もあります

主催：世田谷区立男女共同参画センターらぶらす
企画協力：NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ
協賛：MIZUHO みずほ社会貢献ファンド（役員募金）

フェスタ

Part 3



塚原代

自分の強みを見つけよう！
ライブプランニングで
気持ち上がり！
NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事。
ファイナンシャルプランナー。

▶ 子どもの心理・発達相談
親の別居・離婚など、子
どもへの影響は？
相談員：精神科医師

▶ メイク体験
ナチュラルメイクで気分も
UP!

▶ スペース
ひとやすみ…
お絵かき本でのんびり、まったり。

▶ 保育付き
ママがすぐに使える食品・お菓子な
り

▶ 支援
世田谷区産業振興公社
おしごとカフェ、キャリア
アップ相談

取り組んでいる社会的課題

Focus issues

- 国のひとり親施策への政策提言（アドボカシー活動）
（80%成功しました！がまだ課題はあります）
- 孤立し困っているシングルマザーをなくす支援
- 他団体への支援
シングルマザー支援団体、多分野の支援団体の連携
促進

寄付金の使途計画

Usage of FIT's funds

- ① **中学、高校進学支援金事業 300万円**
初年度 3万円を30人 事務費 25万円
2年目3年目は広報を検討し寄付をさらに募り増額
- ② **シングルマザーのパーソナルサポート事業**
3年間 150万円
情報提供、相談会、セミナー、同行支援
- ③ **子どもたちの学習支援 3年間 100万円**
- ④ **食料支援 3年間 50万円(他団体と連携)**

FITの寄付金により期待される効果・インパクト

Effects and impact of FIT's funds

- 孤立し追い詰められるシングルマザー親子をなくす
(特に入学時の「教育費の壁」を緩和)
- 子どもたちの成長と教育を応援
- 社会に貢献できるシングルマザーの増加

最近、電話相談、メール相談が増えています

最近の相談で言われたこと

- (何回か食料支援などを送ったあとのやりとりで)

「お母さん、死ななくてよかったね」

と子どもに言われました。

FITの支援を受けてよりパワフルに

シングルマザーと子どもたちのしあわせを

ママと子どもたちと一緒に創っていきます



特定非営利活動法人
スマイリングホスピタルジャパン
Smiling Hospital Japan

代表理事

松本恵里様

Ms. Ellie Matsumoto,
Representative Director





特定非営利活動法人

スマイリングホスピタルジャパン Smiling Hospital Japan

Est. 2012 Dec.



代表理事 松本恵里
Ellie Matsumoto
Representative Director

Happiness Helps Healing

～Happiness Helps Healing!～



～Profile～

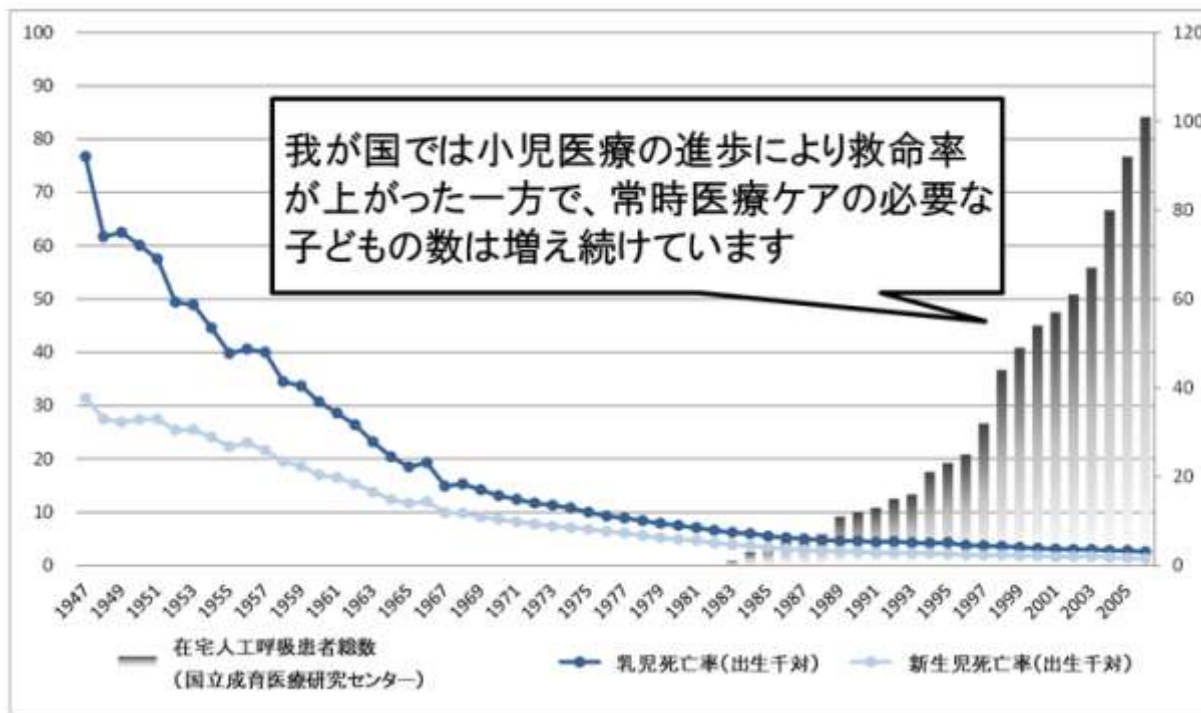
Smiling Hospital Japan

- 目的・・入院入所在宅にて闘病する子どもたちの日常生活の向上
Object...to improve the quality of life of hospitalized children
- 理念・・生きる喜びを通して闘病に前向きになり、治癒力が高まります。
Vision... “Happiness Helps Healing”
- 使命・・小児医療の現場に笑い声が当たり前にある社会を目指します。
Mission... to lift the spirits of children in hospital
- 内容・・プロのアーティストによるエンターテイメント&ワークショップ
What we do...entertainment and art workshop by professional artists



取り組んでいる社会的課題 Focus issues

- 闘病児の日常生活における課題…How children's life in hospital is…
痛みや不安の毎日 子どもらしい活動の不足 …full of pain and patience…
喜びや楽しみの不在 社会からの隔離…lack of entertainment Isolation…
- 在宅にて医療的ケアを受ける子どもの活動制限 …How limited the activities of children with home care is…



出典: 国立成育医療研究センターホームページ



寄付金の使途計画 Usage of FIT's funds

- 病院、施設、子どもホスピス訪問拡大
 - expand the hospital & facility visits
- 在宅医療を受ける子ども訪問を開始、拡大
 - starting to visit sick children staying home
 - (320 visits a year)

アーティスト・コーディネーター謝金	reward for artists/coordinators	(yen/year)
交通費	transportation expenses	3,200,000
抗体検査・保険	antibody test & insurance	600,000
資材費(楽器、クラフト材料等)	musical instruments & materials	110,000
印刷製本費	newsletter & pamphlet	200,000
消耗品費	expendables & office supply	150,000
通信費	communication expenses	160,000
次年度謝金	reward for artists/coordinators for 2017(143visits)	150,000
合計	total	<u>1,430,000</u>
		6,000,000

FITの寄付金により期待される効果・インパクト

Effects and impact of FIT's funds

闘病中の子どもの日常に喜びが生まれ回復の助けとなります
～Laughter is the best medicine!～

在宅で終末期を送る子どもと家族が豊かな時間を過ごします
～Children spending the terminal period
at home will have rich experience～





forcharityrun2015

UNITING FOR OUR COMMUNITY



FITチャリティ・ラン2015 寄付金贈呈式

FIT For Charity Run 2015 Donation Presentation Ceremony

Tuesday, 2 February 2016 at Roppongi Hills Club

協賛企業向け 報告会

日時:

3月24日(木)

午後7時～8時

会場:

フィデリティ・ジャパン・
ホールディングス

港区虎ノ門4-3-1

城山トラストタワー20F

Sponsors meeting

Date and Time:

Thursday, March 24

19:00-20:00

Venue:

FIL Japan Holdings K.K.

Shiroyama Trust Tower 20F,
4-3-1 Toranomom



forcharityrun2015

UNITING FOR OUR COMMUNITY



懇親会

Reception